

## ■番町次世代シンポジウム 議事要旨

開催日時：2025年1月12日午後1時～午後5時

参加人数：28人（在住25名、在勤3名）

アドバイザー：東京大学 加藤 孝明 教授  
東京大学 村山 顕人 教授

本シンポジウムの意味・意義（期待することなど）

### ■東京大学 加藤 孝明 教授

- ・ 対話を進めていくにあたって、正しい情報のもとで、前向きに議論を進めてほしい。
- ・ 地域の未来を考えていくにあたって、都市計画(まちづくり)は自由度が高い分野であり、その多様性を尊重しながら、皆が幸せに暮らすためのルールと、将来世代の幸せな暮らしを作り出すためのルールを作り上げることが必要である。
- ・ 具体的には、「あってはならない未来」を共有し、「こうあってほしい」という大きな方向性を見つけ、そのために各者が何をすべきかのアウトプットを出し、それが育まれていくと素晴らしい。

全体対話の発言内容

■「皆さんの自己紹介や加藤先生の講話の感想」「番町で取り組みたいと思っているテーマやアイデア」等について、3～4人のグループを作り対話を行った。

**1グループ** まちづくりを議論する際の把握している情報量がどの程度のものかを判断することへの難しさ、取組として、未来像の共有と行動方針を議論するのはあるねという話がありました。子育てについての経験や感情が共有され、日テレ開発については繁華街と静かきのバランスが保たれ、住民・学生の生活環境が維持されるといいねという話があった。

**2グループ** 「望ましくない未来」についての議論があり、情報収集の大切さについて認識するとともに、こういう場がもっとほしいという話がありました。また、番町の良さとして、治安の良さもあがった。新しい住民のも多く、良さを共有し、更によくなるように協力していくことも大切だという話があった。

**3グループ** 小学校卒業後の地域コミュニティの欠如、相続税の高さによる住民の流出、町会への参加の困難さがある。番町の森のような緑豊かな空間ができてほしいことと、あわせてエリアマネジメントの必要性が議論された。また、銭湯のような地域コミュニティの場や遊歩道や店舗が一体となった空間をつくっていくなど地域が創意工夫していくと楽しいまちになるといった話もあった。

**4グループ** 番町の良さは、「安心安全(災害面、治安面)」、「インフラ」、「教育環境」、「落ち着き」。更に良さをのばしていくにあたり、電線類の地中化、外国人の増加に伴う教育の多様化、新たな住民とのコミュニティ機会の創出も必要との意見があった。

**5グループ** 番町の良さは、都心部なのに落ち着いたお屋敷街のイメージもあるが、住み始めた時期などで人それぞれなので、皆で良さも含めて共通認識を持っていくことが大切。そのために、新しい形の町会があってもいい。日テレ開発は、大きな広場を作る機会はありませんので非常によい一方、経済合理性だけ求めると番町全体の価値が下がるから気を付ける必要がある。広場は、運営主体、費用負担などの運営面の検討が大事であることや防災や無電柱化の意見があった。

**6グループ** 番町は閉鎖的なイメージもあるが、広場で盆踊りなども行われ地域の活性化の動きもある。地域に関心をもってもらうべく、情報発信や情報公開を広げていくべきという意見が多かった。

**7グループ** 議論のテーマとして、都市での自然緑化、ビオトープ、防災、教育、開かれた広場の話があった。日テレの開発などでビル風がどうなるか不安という話もあった。一方、番町も昔とは変化している面もあるし、そのまま維持するのも難しいということ面もある。建物更新によって、更に治安の良さが進んでいる。考え次第で、日テレ開発もうまく利用して防災や教育、ビオトープなどを進めていくというのもいい。

**ファシリテーター** 人それぞれの主観があり、その思いを共有していくことの楽しさや難しさが全体で共有できたと思う。

**村山先生**

- ・ これまでの皆の議論をきいていると、すごく創造的な場になっていて、ぜひ続けていくといい。

## アイデアづくりワークショップの発言内容

■「番町で取り組みたいと思っているテーマやアイデア」を各自が考えを発表した

(以下、大きく5つのテーマに要約)

### 1. 都市環境、防災、インフラ

防災広場とビオトープの設置 - 多世代が参加できるスパの設置 - 2500 平米の広場の有効利用方法の開発 - 駅にエレベーターの設置 - 広い遊歩道の作成、オープンテラス・青空カフェの推進 - 自動車走行スピードの制限(ハンプ、クランプなど)

### 2. 地域コミュニティ、交流

多世代や多様性を生かした活動 - 地域コミュニティの支援、イベント開催 - 新旧住民の友好 - 番町地域の活性化 - 誰でも気軽に参加できるイベントの開催 - イベントや町会などの情報発信用 SNS の運用

### 3. まちづくり、再開発

番町で再開発に携わりたい、住民の意見聴取を行いたい - 「Open Future by art」という形での未来の再開発を考える - 番町エリアのまちなみの保全と発展 - 静かで品位のある番町の維持と公共の役割の確認

### 4. 子供・若者の育成

バスケットボールやボール遊びができる場所の提供 - 子供の遊び場をもっと増やす - 子供を性犯罪や闇バイトから守るための専門家とのコラボによる講演

### 5. 歴史・文化の創造

歴史の共有(美観・デザイン) - 絵を描く、伝える - 番町の良さは落ち着き、したがって、静寂を求め、賑わいを抑える - 番町のまちへの愛着心を再認識し、それを前提に住民が感じていることを意見交換する場の必要性を感じる

## アイデアづくりワークショップの発言内容

■各自が考えたテーマやアイデアを見て、似た考えを書いた人等とグループを作り意見交換し、グループ内で投票した上位のアイデアを全員で共有した

Aグループ 展覧会や美術館のある芸術の感じられるまちにしたいというアイデア。オフィスを減らし、かわりにマンションを増やして、緑や街路樹が多いまちがいい。

Bグループ 人を優先に歩道の広いまち。方法として、建物を建てる際に塀を引っ込めて協力する。イベントは、広場ではなくて、車を止めて道路を活用するという方法もある。

Cグループ 10通りのテーマがでてきてすべてが関連していて絞り込めなかった。皆でルールブックを作って番町がどういう街かを考えるということに共通。

Dグループ 多世代、多様な人々でゆるやかなイベントを開催したいことが共通テーマで、具体的にはゴミ拾い後にお茶会、外国人の方による料理会、まち歩き、読書会をやるなど。

Eグループ 新旧住民がつながるためのオンラインでの情報交換、住み続けるための住宅への支援や住みやすさとして、バリアフリー化、子育て環境として、ボール遊びができる場所、自然とのふれあい。番町の歴史のアピール。

Fグループ テーマは日テレ開発の広場の活用。広場と建物で地域住民の食を満たすような空間になればいい。銭湯のような地域コミュニティの場になるような空間がよく、それが防災にもつながるといい。

Gグループ 子どもの遊び場づくりがテーマ。子供のサードプレイスがあれば、そこが親子、地域のコミュニティの場になる。

### 村山先生

- ・ ルールブックをつくるという意見もあったが、都市計画のルールは対話を通じてみんなで作っていくもの。
- ・ 地域には多様な意見があり、必ずしも合意する必要はなく、いろいろな意見も含めて設計者に届けていき、設計者が悩んでいいものができていくということだと考えている。
- ・ 情報共有の仕組みとまちづくりの検討の場として、皆がふらっと集まれて情報公開がされている、まちづくりのスタジオのようなものが現場にできるといいと感じた。
- ・ また日テレ開発以外の全体のことは行政にしっかり届けてもらうこと。

## まとめの発言内容

■一人一人が考えたシンポジウムに参加して「最も良かった事」、「新しく知った事」を全員で共有した

一人目 番町に長く暮らしている方の思い、歴史を大切にされているなどを知ることができた。また子供の遊び場、コミュニティの場、店舗などの地域ニーズもこんなにあるのだと新鮮だった。

二人目 お互いの意見が尊重されたことが良かった。新しく知ったこととして、スポーツを推進していく上での環境改善の課題を把握できた。

三人目 集まった人々が皆、番町が好きで、よくしたいと思っているということが良かった。また皆がコミュニケーションを取りたがっているということも新たに知ることができた。

**四人目** 番町の歴史的な面を誇りに思っている方が多く、価値観を共有して、いいところも取り入れながら昔からのものも大切にしていこうという考えは、皆同じような価値観だというのがよかった。

**五人目** 長年番町に住む人は地元のことをよく知っていることや地元愛の凄さが分かった。その上で、日テレ開発がどのようにまちに重ねられていくかというのは引き続き議論していくことが大切だと分かった。昔の古き良き時代を大事にしすぎるあまり排他的な部分も少しあるが、そこに新しい方法で情報共有することも求められていると感じる。日テレは情報発信が得意だったりするので、対話して情報伝達してもらうことも期待。

**加藤先生**

- ・ 皆が前向きな議論をしていたことが良かった。
- ・ 広場という新たな地域資源ができるので、そのマネジメントを当事者や日テレを含めて早めに議論を進めていくことが重要。
- ・ 皆番町が好きなことも分かったので、日テレの開発だけでなく、その他の話題も、こういった地域住民での集まりをベースに、皆で前向きに議論し一緒にルールを作っていくと、更に住みたいまちや未来にいいものが残せる。

以 上